



2020年8月5日

各位

会社名 富士ソフトサービスビューロ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 佐藤 諭  
 (コード番号: 6188 東証第二部)  
 問合せ先 執行役員管理本部長 作野 勝英  
 (TEL. 03-5600-1731)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2020年5月13日付けの「2020年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表いたしました、2020年12月期(2020年4月1日～2020年12月31日)の業績予想を下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2020年12月期 第2四半期累計業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	3,800	100	100	68	5.04
今回修正予想 (B)	4,500	390	390	275	20.37
増減額 (B - A)	700	290	290	207	—
増減率 (%)	18.4	290.0	290.0	304.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	6,066	415	404	275	20.42

2. 2020年12月期 通期業績予想数値の修正(2020年4月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	7,000	260	260	178	13.19
今回修正予想 (B)	7,000	460	460	323	23.93
増減額 (B - A)	—	200	200	145	—
増減率 (%)	—	76.9	76.9	81.5	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期第3四半期)	8,267	472	461	297	22.02

(注) 2020年12月期は決算期変更により、2020年4月1日から2020年12月31日までの9ヶ月間となっております。

### 3. 修正の理由

#### (1) 第2四半期累計業績予想の修正

当社では、「特化型コールセンターを中心としたBPO業務の積極展開」を課題に、「官公庁系ビジネス」、「ITヘルプデスク」、「金融系オフィスサービス」を成長の3本柱としてサービスの拡大を図ってまいりました。

売上高につきましては、官公庁や地方自治体からのスポット案件の受注の増加や継続業務の追加受注、民間での継続案件の増加などにより前回発表の業績予想値を上回る見込みとなりました。

利益につきましては、売上高でのスポット案件が寄与し、販売費及び一般管理費における人件費の増加や事業拡大に向けての投資費用などの増加を吸収し、いずれも前回発表の業績予想値を上回る見込みとなりました。

以上により、売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益、1株当たり四半期純利益を修正いたします。

#### (2) 通期業績予想の修正

通期における売上高につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況であることから前回発表の業績予想値を据え置いております。

利益につきましては、同様に新型コロナウイルス感染症の収束時期が見通せない状況であることを勘案した結果、第2四半期累計期間の増額分までは見込めないものの、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも前回発表の業績予想値を上回る見込みとなりました。

以上により、売上高は前回発表の数値を据え置き、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益を修正いたします。

当社では、今後とも大型案件で培ってきたノウハウを活かし、「専門性」「品質」に重点を置いた「特化型コールセンターを中心としたBPOサービス」を積極展開し、売上基盤の拡大を図るとともに、効率的な業務運営を推進し、中長期的に安定した経営基盤を構築してまいります。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上